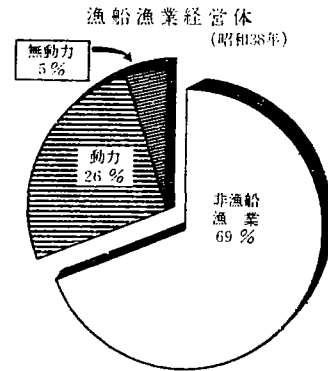


32. 漁業経営体数

352 キロメートルの海岸線をもつ本県は農業とならび漁業の盛んな県である。昭和38年の漁業経営体数は16,946を数える。経営体数を組織別にみると、大部分が個人経営による小規模なものであり、非漁船漁業が69%を占めている。

なお、漁業種類別では53%を浅海養殖が占め以下採貝、採藻、釣延縄の順となっている。

また、京葉工業地帯造成に伴う内湾の埋立てにより、浅海養殖等は年々減少を示している。



年	経営体数	組織別経営体数							
		個人	会社	漁業協同組合	漁業生産組合	共同経営	官公庁学校試験場		
昭和29年	15,356	14,872	51	428			5		
33	16,310	15,972	122	18	9	186	3		
35	16,589	16,242	121	21	12	190	3		
36	16,008	15,653	122	25	11	194	3		
37	15,667	15,438	114	26	10	76	3		
38	16,946	16,722	129	27	6	59	3		
		漁船漁業経営体数			漁業種類別経営体数				
		漁船漁業		非漁船漁業	捕鯨業	底びき網	まき網	敷網	
		無動力	動力						
昭和29年	3,262	3,020	9,074		
33	2,789	3,699	9,822	2	587	131	138		
35	2,393	3,390	10,806	2	465	132	136		
36	2,029	3,379	10,600	2	424	129	87		
37	1,636	3,395	10,636	2	408	115	82		
38	878	4,397	11,671	2	280	82	81		
		漁業種類別経営体数							
		刺網	釣延縄	大型小型定置網	地びき船びき網	採貝採藻	その他の漁業	浅海養殖	内水面漁業
昭和29年	38	8,870	...	
33	950	2,394	40	133	2,257		9,678	...	
35	1,045	2,111	26	68	1,606	286	10,712	...	
36	1,022	2,092	29	57	1,441	212	10,513	...	
37	962	1,976	28	42	1,306	143	10,566	37	
38	990	2,144	24	83	4,135	225	8,897	3	

統計課調，農林省千葉統計調査事務所調 注) 昭和29年，38年「漁業センサス」33年「沿岸漁業センサス」35年～37年「漁業動態調査」による。